

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	佐藤 彰博		
入学年度	平成 23 年度	学籍番号	11GG603
領 域	健康支援科学	分 野	老年保健学
審査委員	主 査	尾田 敦	
	副 査	伊藤 巧一	
	副 査	木田 和幸	
	副 査	對馬 均	

論文題目：手根管症候群の早期発見を可能にする効果的なスクリーニング・ツールの開発

審査結果要旨：

本研究は、手根管症候群患者の早期発見・早期治療の実現を目指した、簡便なスクリーニング・ツールの開発とその効果検証を目的としたもので、審査論文ではこれらの研究内容について系統的かつ過不足なく論述されていた。

スクリーニング・ツールの開発に当たっては、手根管症候群の効果判定として標準的に用いられている質問表をモデルとして、その項目数を精選し、新たに5項目からなる質問表を作成した。この質問表を患者群と健常者群で使用し、得られたデータから手根管症候群を選び分けるためのカットオフ値を統計学的に特定した点や、1500人規模のフィールド調査においてその有益性が確認された成果は、きわめて新規性に富むものである。

審査会では既存の質問表の質問項目の要因分析と精選、手根管症候群を選び分けるためのカットオフ値の特定、フィールド調査を通じた質問表のスクリーニング精度の確認という、段階を踏んだ研究過程について、分かりやすく説明されており、質疑応答、論文内容から、研究内容の意義、結果について十分理解していることが的確に示された。

さらに、学位審査論文及び学位審査会での発表を通して、申請者が地域での研究フィールドの開拓を地道に行い、対象者との信頼関係を構築しながら研究を遂行し、研究者として優れた研究遂行能力を持ち、高い倫理観を身に付けていることが確認された。

以上より、本論文は博士の学位に値するものとする。

最終試験 平成 27 年 1 月 31 日

試験の結果は 合格 と判定する。